

明倫新聞

発行：「学校を元気に！」の新聞部
石川県立野々市
明倫高等学校
野々市市下林3 - 309

桜はな、この、一年のこの時のために全てを出してるから美しいんだ

松岡修造

とまごまごの

こと思ひ出す

桜かな

松尾芭蕉



新入生240人が入学 新たな「倫」歩み始める

野々市明倫高校の入学式が4月8日、第一体育館で行われ、6クラス240人が新たな一歩を踏み出した。新しく赴任した石倉喜八朗校長は式辞で、新入生に向けてエールを送った。

新入生は吹奏楽部の演奏に合わせて入場。国歌斉唱は、新型コロナウイルス拡大防止のため、歌わずに聞くだけとなった。

石倉校長は「努力を継続する力とメリハリをつけるバランス感覚を養うことが重要です。『聴く、正しく、遅しく』という校訓の下、心身ともに逞しい人間となるよう高校生活を送ってもらいたい。そして、人に感動を与えるような人間になって欲しいと願っています」と思いを



宣誓の言葉を述べる五十嵐君と若林さん
＝第一体育館

語った。新入生代表として五十嵐大輝君(15H)、若林愛未さん(16H)が「私たちはこれから三年間、『聴く、正しく、遅しく』の校訓を引き継ぎ、新たな歴史を築いていきます。また、部活動や生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組み

友情を深め、互いに切磋琢磨しながら充実した高校生活を送ることを誓います」と宣誓の言葉を述べた。最後には、合唱部の生徒6人がスピーチをとってステージに立ち、生徒と保護者に向けて校歌を披露し、体育館全体に歌声を響かせた。



間隔を空け、感染対策をして体育館に並んだ新入生

私からは二つのことを述べたいと思います。一つ目は、努力を継続する力を身に付ける事です。授業時間と部活動の時間、合計2000時間は何らかの形で学校の指導下で過ごすこととなります。一方、一年間で一人が過ごす時間は5500時間あります。そこから2000時間を引けば、3000時間以上皆さんの自由な時間となります。これは、皆さん自身が判断して行動することが出来る時間です。その時間を何に使うのか、どういう努力を続けるのが重要ですか。もちろん授業や部活動に真剣に取り組むことは当たり前のことです。また、趣味やボランティア活動など、自らの人間性を高めることを自主的に取り組む努力を続けることが、後の人生に大きく関わってきます。二つ目は、バランス感覚を養うという事です。人間はロボットではないので、ずっと頑張り続けるということはありません。次のステップに向けてのエネルギーを蓄えることも重要です。メリハリをつけていくバランス、様々な状況の中でも役割や立ち位置など、その時何を根拠とし、周りへの影響を考慮して適切に行動していくということが大切であります。新入生の皆さんには、進路実現を目指し勉学や部活動を中心に努力を続けると共に、新しい友人関係を築き、バランスを考えたい行動を取ることで、『聴く、正しく、遅しく』という校訓の下、知性を磨き、心身ともに逞しい人間となるよう高校生活を送ってもらいたい。そして、人に感動を与えるような人間になって欲しいと思っています。

校長先生式辞

桜も人間も十人十色

桜。それは、古来より穀物の神が宿るものと大切にされてきた日本を象徴する植物であり、春が近づき暖かくなると開花して美しい花を見せ、人々を魅了する。そんな桜だが、桜の中にも様々な品種の桜があることを知っているだろうか。

▼日本の80%の桜が「ソメイヨシノ」という品種なので気づきにくいですが、

「クラ」だ。枝が大きく垂れているのが特徴で、薄紅色や濃いピンク色の花を咲か

せる優美な桜だ。他にも「マメザクラ」という桜もあり、白や薄ピンクの花を咲かせるが、とても小さく1〜2cmしかない。また、樹高も3〜8m程と低めだ。

は人も同じなのではないだろうか。それぞれが別の見た目や考えを持ち、全く同じ人間などいない。新入生の皆はこれから同じ明倫高校で学校生活を送るが、桜のように自分ならではの個性を磨き、唯一無二の存在になってほしい。(徳)



マメザクラ



式辞を述べる石倉校長